(昭和30年６月15日第三種郵便物認可)　号外

北区版

LIBERAL&DEMOCRATIC 自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100－8910
東京都千代田区永田町1－11－23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価１部 110円(税込み)
＜毎週火曜日発行＞
自由民主党ホームページ　URL http://www.jimin.jp/

衆議院議員　前経済産業副大臣　元厚生労働副大臣

まきはらひでき特集号

本当の草の根、みなさまの「困った」を解決します。本当の地域密着

生みの親、牧原が守り抜きます！
北部医療センター　北区の医療体制

さいたま市北部医療センター(旧社会保険大宮総合病院)は、2019年に移転オープンを致しました。病院の移転存続に関しては牧原が初当選以来、最も力を入れ取り組んできた案件です。様々な紆余曲折、困難を乗り越えて新病院が出来た事はまさに牧原にとって感無量でした。
ところが今、皆様の不安を煽るような言動をされている方々もいらっしゃるようです。しかし、牧原がいる限り全くご心配はいりません。

▲2017年の起工式にも厚生労働副大臣として参列。これまでの困難な道のりを思い出しつつ、万感の思いを込めて挨拶致しました。

▲北区自治会の皆様、北区選出の伊藤市議、川崎市議、関市議、西区選出の上三信市議と共に厚生労働省小島大臣政務官に要望。

再編で不安の声があってすぐ地元自治会の皆様ともご一緒に、厚生労働省に対し「市内北部地域の休日夜間の救急機能を担い、また、新築移転により住民に必要な医療機能を充実させ一層の地域医療への貢献が期待される同センターについて、再編統合の議論から除外し、住民の不安を速やかに払拭するよう」強く求めました。
小島大臣政務官からは「存続」することをご明言いただきましたので、どうぞご安心ください。
この病院を13年間かけて作ってきた地元の国会議員として、必ず地域の医療体制を守り抜きます。

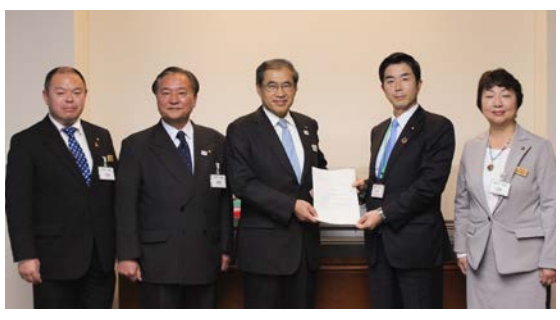
▲2006年、中野厚生労働副大臣に署名簿を提出。

▲2013年、北区選出の関根市議、武山市議、自治会の皆様共々、田村厚生労働大臣に要望。その後プラザノース北側への移転が正式に決定。

▲2016年、衆議院決算行政監視委員会第三分科会にて同センターについて質問。

川越線複線化に向けて、現地視察を行いました

川越線の複線化について、2020年11月16日に地元西区・北区の自治会の皆様、西区選出の稲川市議、上三信市議、北区選出の川崎市議、関市議、JR東日本の皆様と現地視察を行いました。また、さいたま市長等幹部の皆様との意見交換会においては、地元で伺ったゴミ集積所問題の解決とともに、複線化への支援をお願いしました。
牧原自身も地元さいたま市に住み、電車通勤をしております。上野東京ライン創設に尽力するなど、通勤環境整備は牧原にしか取り組むことができないとの思いで、川越線・埼京線の本数増加、強風で止まらないように取り組んで参ります。



▲2018年には複線化の要望書を、北区選出の関根県議(当時は市議)、西区選出の稲川市議、金井市議と共にJR東日本代表取締役社長に提出。複線化に向け粘り強く活動しています。

北区陳情案件MAP

芝川改修

近年の台風や集中豪雨などによる、今羽町付近での浸水被害でお困りの方も多かったかと思います。対策をとるべく改修へ向け国交省への要望をし、予算の確保など活動を進めて参りました。令和2年3月には改修工事が完了し水がスムーズに流れるようになりましたので、近隣の皆様にはどうぞご安心ください。こういった浸水被害を含む災害への対応は今後ますます重要になってきます。子どもから大人、高齢者まで皆様が安心して日々暮らせるよう、これからも国県市一致団結して地域を支えて参ります。

宮原3丁目踏切の再拡張・整備に向けて

地元自治会の皆様、北区選出の伊藤市議と共にJR東日本への要望もし、平成28年度にコンクリート舗装・グリーンベルトが設置されデコボコ等は解消されました。現在、中学校の通学路でもあることから、さらなる踏切道の拡張・整備に向け動いており、歩道全体の工事は来年度完成予定となっております。

盆栽町踏切の整備

「踏切が斜めになっていて危ない、歩きにくい」などの声を頂いていた盆栽町踏切ですが、平成28年度には安全対策としてグリーンベルトが設置されました。更なる改善として踏切道拡張をJR東日本に要望し工事が始まっておりましたが、令和3年2月末には完成の予定です。

▶自治会の皆様と共にJR東日本へ要望書を提出。

上野-東京ラインの創設

まわりからは「無理だ」と言われましたが、国会で何度も取り上げ質問。何年も動かなかった計画を動かしました。牧原は地域密着スタイルの議員としてさいたまからの電車通勤を貫いていますが、上野で止まらずに東京まで行けるのは本当にとても便利です。これからも通勤環境改善・駅整備などには力を入れていきます。

自民党は 国・県・市 一致団結して地域の課題に共に取り組んでいます

お困りごとは
なんでもご相談
ください

衆議院議員
まきはらひでき
☎048-854-0808

埼玉県議会議員

北区
せきね　のぶあき
関根 信明
☎048-664-1313

さいたま市議会議員

北区
いとう
伊藤まなぶ
☎048-668-6065

さいたま市議会議員

北区
かわさき
川崎てるまさ
☎048-663-2510

まきはらひでき事務所
〒338-0001
さいたま市中央区上落合2-1-24-5階
TEL.048-854-0808　FAX.858-2635

牧原秀樹プロフィール

衆議院議員4期目　昭和46年6月4日生まれ　麻布高、東京大学法学部卒業後、渉外弁護士として数多く国際案件に携わる。ジョージタウン大ロースクール国際法学科留学。国際弁護士（日本・ニューヨーク州）。平成15年経済産業省入省。　平成17年埼玉5区より初出馬。平成21年東日本大震災により親や家を失った子供たちの支援団体を設立、活動。平成24年衆院選にて再選。以降、環境大臣政務官、党青年局長、議院運営委員会理事、厚生労働副大臣、衆議院内閣委員長、経済産業副大臣を歴任。現党環境部会長。無派閥。ごく普通のサラリーマン家庭で育った2世議員ではない立場から、議員宿舎は借りずに地元さいたまで暮らす地域密着スタイルを貫く。

LINE
LINE@

❶政治は政策、そして結果
国際弁護士、環境政務官、厚生労働副大臣、経済産業副大臣などの経験を活かし、政策で「経済・雇用そして生活を守り抜く」が信念です。

❷国際派
国際経済関係法や交渉、紛争解決など外交・通商が専門分野。地球温暖化防止にも積極的に取り組んでいます。

❸福祉・弱者の味方
子供の貧困対策推進法、動物愛護法改正の議員立法などを行いました。厚生労働副大臣時には子供の虐待防止を強化し、年金、医療、介護、子育て支援、福祉政策の充実に尽力しました。「政治は弱いもののためにある!」が信条です。

❹地元密着
3人の子供とともに地元さいたま市に在住。荒川治水、国道整備、通勤環境改善（上野ー東京ライン創設等）、駅整備、医療体制充実など、よりよいさいたまに向け結果を残し続けています。

❺未来への責任を果たす
党青年局長や超党派若者議員連盟会長として活動。新時代に向け新たな視点と行動力で政治を変えていきます。